

大塚国際美術館 追加展示
待望のレオナルド・ダ・ヴィンチ
「白貂を抱く貴婦人」
2020年4月21日から公開、常設展示

大塚国際美術館（大塚一郎館長、徳島県鳴門市）は、ポーランドの貴重な文化財の一つである巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチの「白貂を抱く貴婦人」を陶板で原寸大に再現し、4月21日（火）から一般公開します。「最後の晩餐」「モナ・リザ」など数々の名画を描いたレオナルドの十数点しか現存しない絵画のうち、当館では現在10点を常設展示していますが、今回の追加で計11点が一堂に鑑賞できます。今なお人々の関心を引き続けるレオナルド・ダ・ヴィンチの新展示にご期待ください。



「白貂を抱く貴婦人」は、レオナルド・ダ・ヴィンチが女性をモデルに描いた4点の肖像画の2作目で、彼がミラノのルドヴィーコ・スフォルツァ（通称イル・モーロ）侯に仕えていた時期の作品です。

モデルは、1489年にルドヴィーコの愛妾となったチェチリア・ガッレラーニ（当時15歳くらい）。腕に抱く白貂（冬毛のオコジョ）はギリシャ語で「ガレー」といい、彼女の苗字の語呂合わせであり、貂は「純潔と節制」のシンボルといわれます。

抱かれている白貂は、右前足を踏ん張り、腕から逃げ出そうとしています。チェチリアに優しく押さえられています。モデルの衣装は、当時ミラノ宮廷に招来されたばかりの最新のスペイン風のもので。

▲「白貂を抱く貴婦人」1489-90年頃 油彩/クルミ材 54.8×40.3cm

チャルトリスキ美術館（クラクフ国立美術館分館）、ポーランド

©The National Museum in Krakow/The Princes Czartoryski Museum ※この画像は原画を撮影したものです。

■Optisolis™（オプティソリス）照明を使用

作品を照らす照明は、日亜化学工業様（徳島県阿南市）よりご提供いただいた超高演色白色LED

「Optisolis™」を使用します。Optisolis™は、日亜化学工業が長年培ってきた、青色LEDと蛍光体の技術が存分に生かし開発された照明で、美術館や博物館の照明に非常に適した光源です。自然光に近い色味の光を出すことができるOptisolis™で照らすことにより、絵の色を忠実に見せることができます。レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた傑作を細部までじっくりとお楽しみください。

■ チャルトリスキ美術館での展示に至るまで

「白貂を抱く貴婦人」は1800年頃、ポーランド貴族アダム・イエジ・チャルトリスキ公爵がイタリアで購入。その後、兵器庫だった建物を活用したチャルトリスキ美術館で展示されました。第1次世界大戦時にはドイツのドレスデン絵画館に運ばれ、難を避け、第2次世界大戦時にはナチスによりベルリンに持ち去られるなど、幾多の苦難の歴史をくぐり抜けてきました。2016年からは、ポーランド国家の所有となり、現在、チャルトリスキ美術館に展示されています。



▲チャルトリスキ美術館
©Muzeum Narodowe w Krakowie
Photo:Tomasz markowski

■ レオナルド・ダ・ヴィンチ【1452-1519】

1452年イタリア生まれ。10代の初期にフィレンツェの高名な画家・彫刻家のヴェロッキオに弟子入りし、美術全般の基礎を体得。やがて画家として認められ自立。絵画を制作すると同時に、彫刻、建築、舞台芸術、天文学、数学など多彩な分野で努力を続け、才能を発揮。「万能の人」とも呼ばれ、ルネサンス三大巨匠の一人に数えられる。「最後の晚餐」などに見られる遠近法やスフマートの考案など、後世の画家に与えた影響は計り知れない。



▲「最後の晚餐」(左)修復前(右)修復後

■ 大塚国際美術館で鑑賞できるレオナルド・ダ・ヴィンチ作品一覧（11点）

	制作年	作品名	所蔵
1	1472-73年頃	受胎告知	ウフィツィ美術館、イタリア
2	1472-73年頃	キリストの洗礼	ウフィツィ美術館、イタリア ※ヴェロッキオとレオナルド・ダ・ヴィンチ
3	1481-82年	東方三博士の礼拝	ウフィツィ美術館、イタリア
4	1483-86年頃	岩窟の聖母	ルーヴル美術館、フランス
5	1489-90年頃	白貂を抱く貴婦人 ※4/21～新展示	チャルトリスキ美術館(クラクフ国立美術館分館)、ポーランド
6	1495-98年	最後の晚餐<修復前>	サンタ・マリア・デッレ・グラーツィエ修道院 食堂、イタリア
		最後の晚餐<修復後> ※開館5周年記念事業 2003年4/25～展示	
7	1498年	聖アンナと聖母子	ナショナル・ギャラリー、イギリス
8	1503-06年	モナ・リザ	ルーヴル美術館、フランス
9	1508年頃?	岩窟の聖母	ナショナル・ギャラリー、イギリス ※アンブロジー・ディ・プレディスとレオナルド・ダ・ヴィンチ
10	1512年頃	聖アンナと聖母子	ルーヴル美術館、フランス
11	1513-16年	洗礼者聖ヨハネ	ルーヴル美術館、フランス

※印は共同制作

2020年度は“イタリア”を通年テーマにイベントを開催します！

第1弾「ITALIA 花の都・フィレンツェ」

【開催日】2020年4月1日（水）～5月31日（日）

フィレンツェは「花の都」とも呼ばれ、美しい街並みは「フィレンツェ歴史地区」として、ユネスコの世界遺産に登録されています。レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエッロら多彩な芸術家を輩出するなど、美術や建築の最高傑作を生んだ、まさに芸術の宝庫として知られる都市でもあります。

第1弾では、フィレンツェを取り上げ、“花”をキーワードにイベントを開催。ルネサンス三大巨匠を詳しく知ることができるガイドマップが登場するほか、レストランでは、フィレンツェ風ビーフステーキが味わえる「アートランチ（1300円）」も楽しめます。



大塚国際美術館とは

古代壁画から現代絵画まで世界 26 カ国 190 余の美術館が所蔵する 1000 余点の西洋名画を、特殊技術によって陶板で原寸大に再現。レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」をはじめ、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度はご覧になられたことがある名画が一堂に展示され、日本にいながら世界の美術館を体験できます。



▲環境展示：システーナ・ホール

【住 所】〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【T E L】088-687-3737 【F A X】088-687-1117

【U R L】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時(入館券の販売は16時まで)

【休 館 日】月曜日(祝日の場合は翌日)／1月は連続休館あり／その他特別休館あり *8月無休

【臨時休館】2020年3月4日(水)～3月31日(火)

【GW】2020年4月28日(火)～5月10日(日)まで休まず開館

【入 館 料】一 般 3,300円 / 大学生 2,200円 / 小中高生 550円 *20人以上の団体は10%割引

【アクセス】

関東から

飛行機
羽田空港～徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約33分
新幹線
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から

直通バス
伊丹空港・大阪梅田・なんば・三宮より 約1時間30分～約3時間
大阪なんばOCAT/JR神戸駅より 約1時間45分/約3時間
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
路線バス
JR徳島駅より 約52分、JR鳴門駅より 約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車

※各地からのアクセスがご不明な場合はお問い合わせください。

中部地方から

新幹線
名古屋より新神戸 約1時間
新神戸にて高速バス乗り換え

高速バス
大阪/神戸など「高速鳴門」
2時間10分/1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約10分
自家用車
神戸淡路鳴門自動車道
鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行

周辺地図



《お問い合わせ》

大塚国際美術館 学芸部広報担当 吉本、土橋

Tel: 088-687-3737 Fax: 088-687-1117 Mail: info@o-museum.or.jp

※2020年3月31日(火)まで臨時休館のため、Fax または Mail でご連絡ください。